

道警少年サポートセンターによる非行防止教室

自分の大切さを実感させる教室



～事例を通して伝える想い～信じることをあきらめないで～

万引き、薬物、援助交際、いじめ、暴力など、さまざまな問題を抱える子供達。その子供達は、寂しさ、苦しさ、痛みといった困難を抱えています。

日々、問題を抱える少年や保護者に寄り添い、支援を続けている少年サポートセンター職員だからこそ、伝えられる想いがあります。

家にも学校にも居場所はなく、いつも独りぼっちだった。
大人なんて誰一人信用できない、大嫌いだった。
髪を染めて、たばこを吸って、夜の街に出た。
夜遊びしてる時、サポセンの人に補導された。
最初はむかついたけど、いくら反抗してもしつこく構ってくるから、次第に話をするようになった。
薬物をやって施設に入ることになった時、母さんが「心配だった」と初めて泣いた。私のこと嫌いじゃなかったの…？
施設を出て、ようやく生活が落ち着いた頃、母さんの癌が発覚した。母さんは、最後に「ありがとう」と言って亡くなった。
信じて待っててくれたのに、何もしてあげられなかった。
サポセンの人は、施設に入った時も、母さんが亡くなった時も、「またね。待ってるよ」と言ってくれた。
もっと早く相談すればよかった。
私は、独りじゃなかったんだ…



道警では、警察官による法の遵守を目的とした非行防止教室を実施してきましたが、これに加えて街頭補導や少年相談等を日常業務とする少年サポートセンターの専門職員が実際の事例を通して、警察官とは違った視点から、自分の大切さを実感させる非行防止教室を行います。

各警察署生活安全課少年係にお問合わせ頂ければ、少年サポートセンター担当者から直接、連絡し、打ち合わせさせていただきます。

動画も併せてご覧ください

「自分の大切さを実感させる教室」の紹介動画を北海道警察のYouTube公式チャンネルで公開しています。

